

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1090	(H.26)No.	1090
-----------	------	-----------	------

事務事業名	不法投棄対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
生活環境部	環境対策室	藤野 泰司	

会計区分	事業コード	272001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	衛生費	不法投棄対策事業
項	清掃費	(小事業名)
目	ごみ対策費	不法投棄対策事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施 策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小 施 策	1	ごみの減量化
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
不法投棄の監視パトロールと撤去体制を整備することにより、ごみゼロ社会の構築をめざします。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の監視パトロールを通年でを行い、不法投棄物の早期発見、早期撤去を行うことにより、不法投棄ができない環境づくりをめざします。 ・家電4品目など法律でその処理方法が定められたものについて、適正に処理を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・環境レンジャー委託 3,357千円 (ごみ撤去と監視パトロール) ・不法投棄物処理手数料 181千円 (伊賀環境衛生組合施設での処理困難な不法投棄回収物を民間事業者等で処理) ・消耗品費 761千円 (不法投棄防止看板等購入) ・ガイドブック印刷 642千円 (本冊 10,000冊 五十音順 10,000冊) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境レンジャー委託 3,264千円 (ごみ撤去と監視パトロール) ・不法投棄物処理手数料 847千円 (伊賀環境衛生組合施設での処理困難な不法投棄回収物を民間事業者等で処理) ・消耗品費 214千円 (不法投棄防止看板等購入) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境レンジャー委託 ・不法投棄物処理手数料 ・消耗品費 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境レンジャー委託 ・不法投棄物処理手数料 ・消耗品費 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境レンジャー委託 ・不法投棄物処理手数料 ・消耗品費

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	4,942千円	4,325千円	4,400千円	4,400千円	4,400千円
内 国・県支出金	1,403				
内 地方債					
内 その他(諸収入)	1,588	1,305			
内 一般財源	(0) 1,951	3,020	4,400	4,400	4,400
人 職 員	0.85人	0.90人	0.90人	0.90人	0.90人
数 臨時職員等	0.05人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
②概算人件費	(0千円) 6,460千円	7,005千円	7,005千円	7,005千円	7,005千円
①+②総事業費	(0千円) 11,402千円	11,330千円	11,405千円	11,405千円	11,405千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
<p>環境レンジャーをシルバー人材センターに委託し、ごみ撤去と不法投棄の監視パトロールを行いました。</p> <p>三重県海岸漂着物対策事業により、不法投棄防止看板及びごみの分け方・出し方がガイドブック(本冊、五十音順別冊)を作成・配布し、啓発を行いました。</p>	<p>不法投棄監視パトロール及び不法投棄物撤去を引き続き継続しなければなりません。財源不足のため家電製品協会の事業補助を申請しています。</p>

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	地域の環境美化に多大な貢献をしています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	地域及び市民から環境レンジャーの不法投棄対策活動は、たいへん感謝され、また通報や監視等において連携を図っています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム、なばり快適環境プラン
本事業は不法投棄防止対策や地域の環境美化など、快適な生活環境を維持するために継続して取り組む必要があります。	